学校番号	T3017

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会（増）	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	高等学校　現代社会　改訂版（山川出版社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 時事的事象から世の中の動きを感じ取る
- マスメディアの情報を取捨選択できる能力を身につけ、自ら考える力を持つ。
- 民主主義の意義を考察し、客観的に物事を判断できるようにする。

2　学習の到達目標

広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深めさせ，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させるとともに，それらに関する諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断し，その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や,学び方を理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・出席状況	・授業態度 ・発問評価 ・出席状況	・授業態度 ・発問評価 ・出席状況	・授業態度 ・発問評価 ・出席状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
通年		1週間のニュースを読み解く	○	○	○	○	a:日ごろのニュースやマスメディアの情報を、興味深く取り入れられる。 b:日ごろのニュースやマスメディアの情報から、物事の本質を読み解き自らの意見を表現できる。 c:さまざまな媒体のメディア、情報から、本質を読み解く。 d:各ニュースを知り、本質、背景を理解する。	授業態度 発問評価 出席状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。